



GISの誤解

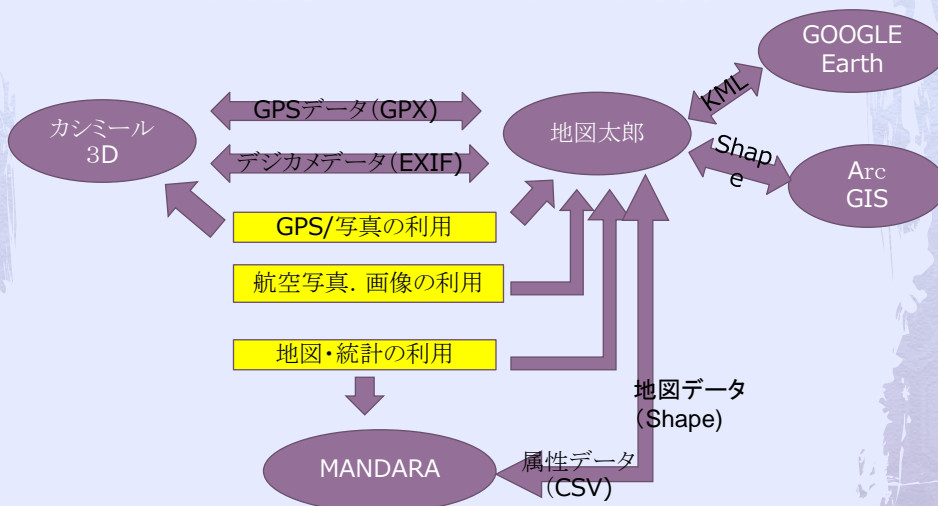
1. **GISは難しい×**
 - GISは、難しい分析もできる○
 - GISのデータは簡単に作れる
 - 簡単に使えるGISソフトもある
2. **GISは高い×**
 - 高くて高機能のソフトもある○
 - 無料や安いソフトも、そこそこ使える
3. **紙地図のほうが使いやすい△**
 - 一度きりしか使わないなら○
 - 変化することを書き込むと読めない
 - 昔の地図を使うのは大変

どうすると簡単に使えるか

- ◆ 地図データを作る
 - ◆ 小型GPSを使って位置情報を作る
 - ◆ 小型GPSの情報をデジカメ情報に書き込む
- ◆ 地図上に表示する
 - ◆ Google Map上に表示する(フリーソフト@trip)
 - ◆ うおっちず(フリーデータ)を使って表示する(カシミール3D)
 - ◆ 基盤地図(フリーデータ)を使って表示する(地図太郎)

3

簡易GISソフトの関係



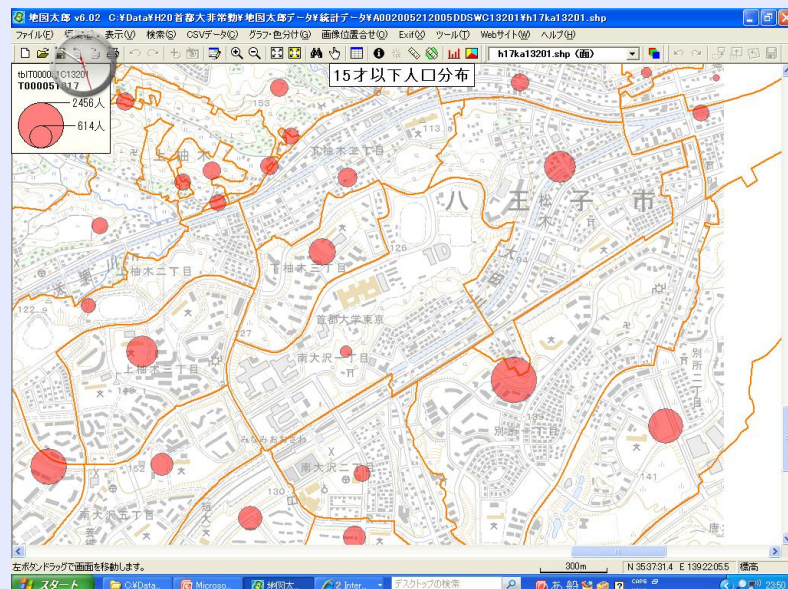
地図は見える情報だけではない

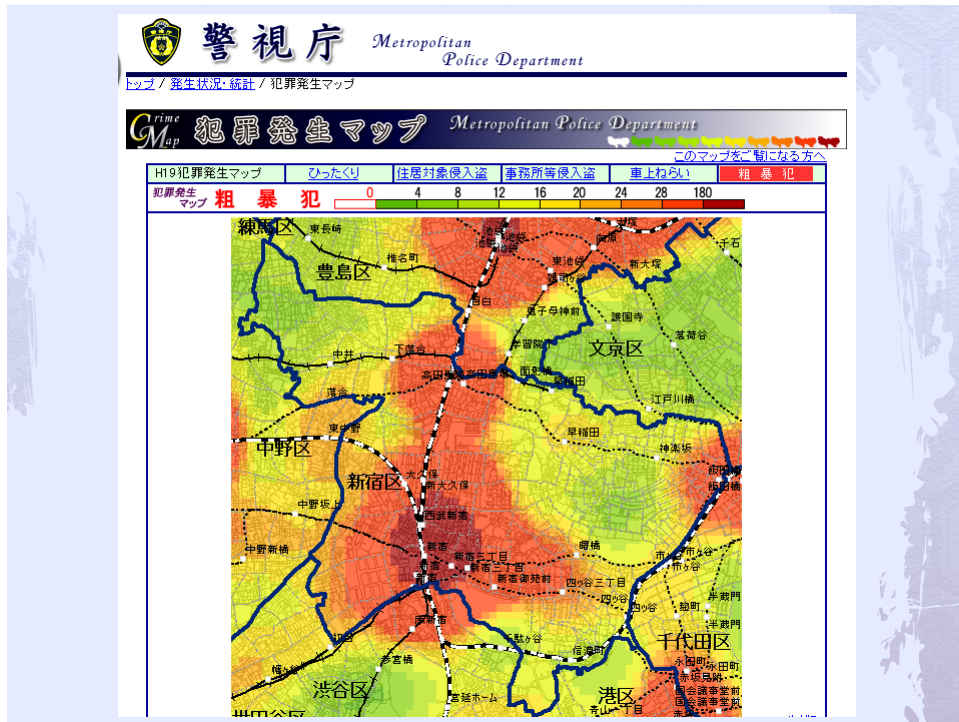
- ◆ 地形図: 見えるものをシンボルで表示
 - ◆ 建物, お店の名称
 - ◆ 個人の名前
- ◆ 見えない情報
 - ◆ ものの属性情報
 - ◆ 統計情報
 - ◆ 人口分布
 - ◆ 評価情報
 - ◆ おいしい店
 - ◆ 分析情報
 - ◆ 地質図
 - ◆ 犯罪危険度



5

15歳以下人口の分布





GISが難しいのではなく、どう使うかが大切

- ◆ 地域の記録(地域発見)
 - ◆ デジカメで撮影: 目的をコメントに残す
 - ◆ 撮影記録を1枚の地図の上に表現する
- ◆ 地域の課題解決
 - ◆ ただ記録するだけではダメ
 - ◆ 地域の課題がわかるような工夫
 - ◆ 解決の方策が示せるような工夫
- ◆ 情報の発信
 - ◆ GISで作った図を画像としてホームページに利用する

今日の行動



ホームページに表示



GISを使いこなす力を磨く

- ◆ 一般の書籍で勉強？
 - ◆ たくさん教科書が出ている
(Mandara, カシミール3D)
- ◆ ワークショップで学習
 - ◆ まちづくりワークショップで行う
(まだファシリテータが育っていない)
- ◆ NPOによるGIS学習
(一部のNPOで開始)
- ◆ 大学で社会人向け学習
(一部の大学で開始)

9

子どもの安全にGISを使う

- ◆ 子どもの安全
 - ◆ 大人たちはどのように見ているか
 - ◆ 子どもたちはどのように思っているか
 - ◆ 子どもの行動と大人の行動
 - ◆ 子どもの意識と大人の意識
 - ◆ パトロールでできること
 - ◆ 本当に子どもの行動を知ってパトロールしているか
 - ◆ 要人警護のように出来るか？
 - ◆ 地域で見守ること
 - ◆ やっぱり地域で見守る仕組みが大切ではないか
 - ◆ 地域で大人と子どものコミュニケーションを活発にする

10

新潟の小学生

